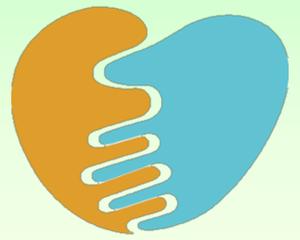


さんいく ジオだよい

第 5 号



三陸ジオパーク推進協議会
H26.1.10

☆☆ 主役は小学生！！ ☆☆ 三陸キッズ★ジオマスター！！

11月10日(日)、三陸沿岸の小学生が集結し、三陸ジオパークのクイズ大会を行いました！

その名も『三陸キッズ★ジオマスター』！

出場したのは、構成16市町村のうち、13市町村の小学生ペア。総勢26名の子ども達が三陸鉄道北リアス線を舞台に、

三陸ジオパークの難問奇問に挑戦しました。

『久慈駅』をスタートし、終着点である『宮古駅』までクイズにチャレンジ！

高校生海女クラブの皆さんや鉄山染めを身にまとった萩牛生活研究グループ(普代)



【いざ！出発進行！！】



【萩牛生活研究グループのお姉さんたちが身に着けていたものは？！】



【途中、いろんな人がクイズを出題！】

に興味津々！宝探しが始まりました。



【ジオツアー体験中〜】

のお姉さんたち、秋田のなまはげに似た『なもみ』まで登場して問題を出してくれましたよ！

『田野畑駅』では、体験村・たのはたネットワークの楠田拓郎さんによるジオツアー体験！

決勝戦の舞台は、宮古市のジオサイトである浄土ヶ浜にあるレストハウス。



激しい戦いの末、決勝にコマを進めたのは、山田南小学校ペアと釜石小学校ペア。



【みごと復活！！】

【その手には決勝の二文字！】



【決勝戦！】

最後のイースをかけた敗者復活戦で、見事復活を果たした田野畑小学校ペアを加えた三ペアによる決勝はどこが勝ってもおかしくないくらいの接戦でした。



最後に勝利の女神がほほ笑んだのは釜石小学校のペアでした。

記念撮影で幕を閉じました。

その後、市町村や学校の枠を超えた交流の証にプレゼント交換が行われ、



【最後はみんなで記念撮影！】

三陸キッズ★ジオマスター！
次回の優勝はどこの市町村に？！

宮沢賢治が歩いた三陸ジオパーク

日本ジオパーク認定記念事業/宮沢賢治没後80周年記念事業
 平成25年度三陸ジオパーク学術シンポジウム
 ～宮沢賢治が歩いた三陸ジオパーク～

日時 平成25年12月4日
 13:30～16:15

会場 大船渡市民会館(リアスホール)大ホール

入場無料

プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶
- 13:35～13:45 作品解説 「樫ノ木大学士の野宿」
講師：加藤碩一氏 (NPO地質情報整備活用機構会長/独立行政法人産業総合技術研究所名誉リサーチャー)
- 13:45～14:15 作品朗読 宮沢賢治作品の朗読
IBC岩手放送 風見好実アナウンサー・富田京央子アナウンサー
- 14:15～15:00 記念講演 「宮沢賢治と三陸のジオ」
講師：加藤碩一氏 (NPO地質情報整備活用機構会長/独立行政法人産業総合技術研究所名誉リサーチャー)
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:15 懇談
・中川和之氏 (日本ジオパーク委員会 委員)
 ・廣瀬俊介氏 (東北芸術工科大学 准教授)
 ・佐藤悦郎氏 (大船渡市立博物館 館長)
- 16:15 閉会

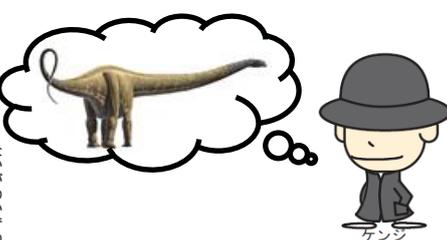
【主催】岩手県・三陸ジオパーク推進協議会
 【共催】岩手県立大学
 【後援】花巻市・釜石市・大船渡市・陸前高田市・気仙沼市・住田町
 【問合せ先】三陸ジオパーク推進協議会 〒027-0072 岩手県宮古市五月町1-20
 TEL0193-64-1230 / FAX0193-64-1234

12月4日(水)に開催された、学術シンポジウム「宮沢賢治が歩いた三陸ジオパーク」(於：大船渡市民文化会館「リアスホール」)には、三陸エリアの内外から、200名を超えるの方々に参加いただきました。

「石っこ賢さん」と宮沢賢治の作品を、ジオパークの視点で読み解き三陸ジオパークの魅力へとつなげることが、このシンポジウムの狙いです。

基調講演は、ご専門の地質学から賢治作品を読み解く、宮沢賢治研究の第一人者、加藤碩一先生。白亜紀の恐竜が日本に存在したことを予言した、とされる『樫ノ木大学士の野宿』の朗読会。IBCアナウンサー3人の朗読と、事前の加藤先

最後は、中川和之の日本ジオパーク委員会委員、廣瀬俊介東北芸術工科大学大学院准教授、佐藤悦郎大船渡



生による作品解説を通して、大学士が見た夢の世界が、情景豊かに伝わり、より深く物語を楽しめました。

市立博物館館長による鼎談で、各人から三陸ジオパークの活動を通して地域を元気にするアイデアを出していただきました。

文学と大地の魅力とをつなげた宮沢賢治は、非常に面白いテーマを三陸ジオパークに残してくれました。

「賢治が歩いた三陸ジオパーク」を皆さんがより楽しめるように、新たな企画を練ってまいりますので、ご期待ください！



勝手にジオ飯認定委員会！

勝手に認定しちゃっています

今回ご紹介するのは岩泉町小川(こがわ)の「炭鉱ホルモン」です。

小川炭鉱は、昭和8年に本格的な採掘(平成8年閉山)が始まり、最盛期には7,000人を超える炭鉱夫たちが集まっていたそうで、はじめは石炭が、その後は耐火粘土が掘られていました。同地で産出される耐火粘土は全国一の品質といわれ、製鉄所の高炉内部にも使用されたそうです。

鉱山が栄えていた頃、朝鮮からの炭鉱労働者向



けに「あずまや」という食堂(すでに閉店)でホルモン鍋が長らく人気メニューだったそうで、その味は小川地区の皆さんに忘れられない味になりました。それが最近地元を中心に「炭鉱ホルモン」の名前で再興し、地域の店舗がアレンジを加え、今では4種類以上のホルモンが味わえるそうです。

昨秋からは「炭鉱ホルモンまつり」も開催され、各店舗の味比べすることもできます。

岩泉町に伝わる炭鉱の歴史とそこから生まれた伝統のグルメ「炭鉱ホルモン」。鉱物資源の歴史にまつわる「ジオめし」として応援していきます！



じぇじぇじぇ!

三陸ジオパークとあまちゃんロケ地を巡るツアーを開催しました!



11月16日(土)、三陸ジオパークとあまちゃんロケ地を巡るツアーを開催しました。

参加者で遠くは、仙台・八戸などから合わせて40名の方が参加してくれました。

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地を楽しみながら、大地の歴史が感じられるジオパークについて学ぶ、一粒で2度美味しいツアーコースです。



【北三陸駅(久慈駅)】

はじめに、やませデザイン会議所属の地元ガイドさんの案内で北三陸駅(久慈駅)・久慈市観光協会、喫茶モカなどの久慈駅周辺のドラマロケ地を見学しました。

つぎに、小袖海岸に移動。

小袖漁港周辺では、やドラマの撮影に使われた坂道や監視小屋を見学した他、久慈市のジオパーク研究員より漁港内にそびえるジオポイント「夫婦岩(めおといわ)」のできかたについて、写真やイラストなどを用いて分かりやすく説明を受けました。

お昼は、おおみやさんで大人気のみめぶ汁いただき、午後は久慈琥珀博物館に移動。



【喫茶モカ】



【久慈市ジオパーク研究員の佐々木和久さん】

琥珀博物館では、べんさんも磨いていた琥珀についての解説と今回は特別に敷地内にある坑道内で、琥珀に紫外線を当てた光の観察を行いました。



【え〜こちらがドラマの...】

じぇじぇじぇ!

三陸ジオパークとあまちゃんロケ地を巡るツアー

11/16 土	盛岡駅西口 7:30 発	久慈駅 (ドラマロケ地見学)	小袖海岸(見学) 夫婦岩・灯台等
	三陸ジオパークを学ぶ 久慈琥珀博物館	やませ土風館 (買物)	盛岡駅西口 17:40 着



【琥珀博物館 琥珀の解説】

最後はやませ土風館にて、お買いもの。参加者からは、「盛りたくさんでとても有意義なツアーでした。特に三陸海岸の風景や久慈琥珀博物館は圧巻! ジオガイドやスタッフの方々のおもてなしの心が感じられるすばらしいツアーの企画ありがとうございました。」などの意見をいただきました。

ぜひ、このツアーコースが久慈市の定番コースになっていただければと思います。



【坑道内にて、琥珀に紫外線を当てた光の観察実験】



アックアソーシャルフェス2013 in三陸ジオパーク



11月24日、宮古市浄土ヶ浜で「アックアソーシャルフェス2013 in 三陸ジオパーク」を行いました。
本イベントは、トヨタグループによる復興支援の一環として、三陸ジオパーク推進協議会と共催で行われたもので、岩手県内で製造されているトヨタ自動車のハイブリッド車「アックア」が三陸ジオパークを応援するという趣旨で開催されました。
県内外から52人が参加し、遠くは神奈川県鎌倉から参加された方もいました。
「自然と向き合い、三陸の魅力を再発見する」をテーマに、ジオサイトの一つ、浄土ヶ浜周辺を遊覧船やトレッキングで観察して回りました。

お昼は浄土ヶ浜レストハウスで「当地グルメの「浄土ヶ浜カレー」や「雲丹麺」を味わい、午後からは、浄土ヶ浜ビジターセンターの伊藤栄利子ガイドによる浄土ヶ浜ジオツアーに参加し、浄土ヶ浜のなりたちや見どころを自然遊歩道を歩きながら学びました。



浄土ヶ浜遊覧船では、金澤明美ガイドから「ローソク岩」「潮吹き穴」「日出島」などのジオポイントを紹介してもらったほか、311の津波被害状況についてもお話いただき、参加者は楽しく、時には真剣に学んでいました。



また当日は岩手県内のトヨタ販売会社に「アックア」10台をご用意いただき、参加者自らが浄土ヶ浜周辺を実際にドライブして、風光明媚な景色を視界に入れながら「エコドライブ」について学びました。
「アックアソーシャルフェス」は、トヨタ自動車が「水」をテーマに市民とともに環境問題の解決に取り組む社会貢献活動で2013年は年間全国100力所以上で行われています。来年度は三陸ジオパークエリア全体で開催できるよう、トヨタグループ様にお願いして参ります。

「三陸ジオパーク気仙沼推進協議会」が設立!

11月26日(火)には、気仙沼での今後の活動をますます活発化させることを目的に、「三陸ジオパーク気仙沼推進協議会」が設立されました。

行政主体の市町村協議会設立は、三陸エリアでは初めてで、各観光協会、教育関係者、ガイド団体などから構成されています。

より気仙沼のジオを楽しんでいただけるよう、今後ジオツアーの実施やリーフレットの作成を連携して行っていきます!!



気仙沼学習会



ジオガイドの拠所は、皆さん掘めたてでしょうか？

7月に続いて11月7日（水）、気仙沼市唐桑半島の巨釜（おおがま）・折石（おれいし）、半造（はんぞう）で、ガイド学習会が開催されました。今回は、あいにくの雨模様でしたが、気仙沼のガイド、関係者をはじめ、他地域のガイドも駆けつけ、40名近くの方々が参加しました。

今回の講師は
お馴染みのこの方！！



東北大学名誉教授
えひろ まさゆき
永広 昌之 先生

今回の学習会は、巨釜・折石などに分布するおよそ二億五千万年前頃の石灰岩、それらが形づくる奇岩や地形のほかに、唐桑半島全体に残る、かつての海底が隆起してできた地形について、学術専門委員の永広 昌之、東北大学名誉教授に解説していただきました。

今回のガイド実演
はこの方！

唐桑町観光協会の
くまがい まる
熊谷 羊さん



まずは、唐桑町観光協会熊谷さんに御崎八隻曳（おさきはつそうびき）をガイド実演していただきました。

まずは、唐桑町観光協会熊谷さんに御崎八隻曳（おさきはつそうびき）を

次に、国立公園でもある唐桑半島の植生について、久保井 喬自然保護官に解説していただきました。広い三陸、南と北とでも植生に違いがあることを、落ちている枝葉を見せながら、判りやすく説明くださいました。



雨が降る中でしたが、普段通っている道路のある台地が、三十数万年前は海底だったと聞いた地元参加者は驚きを見せていました。



国立公園内の
ことはこの方！

環境省 自然保護官
くまがい けい
久保井 喬さん



参加者からは、「見慣れた景色を見直した」、「大きなスケールで地元を見ることが新鮮」、などの感想が寄せられました。講師の皆さまのおかげで、おおむね好評を得ることができた学習会でした。

野田村に ジオサイトの看板ができました!

12月3日(火)、野田村十府ヶ浦南端の土内地区に設置した「玉川・土内くんのこほっば跡のジオサイト解説板」が設置されその除幕式が行われました。



くんのこほっば愛好会では、三陸ジオパーク構想が始まる以前から、琥珀の歴史や文化を伝承するべく標柱を設置していましたが、3・11東日本大震災津波により流失してしまいました。

【設置したジオサイトの解説板】



にゃんと?!
つらつ六使の
初仕事?!



同愛好会では、「三陸ジオパーク」が日本ジオパークとして認定されたことを機に、琥珀の歴史や文化を内外に発信すべく、北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会と共同し、ジオサイトの解説板を制作することになりました。

【除幕式の様子】



近くまで来たり
寄ってみてね!



三陸ジオパーク推進協議会でも、西団体と連帯を図りながら、解説板の設置やガイドの養成など三陸ジオパークの推進に取り組みんでいます。

三陸ジオパーク推進協議会でも、西団体と連帯を図りながら、解説板の設置やガイドの養成など三陸ジオパークの推進に取り組みんでいます。

裏ジオポイント

宮古市の浄土ヶ浜の岩肌には、獅子(らいおん)のように見える岩肌があります!
獅子は縁起物!
ぜひ、青の洞窟サップ船遊覧で近くまで行ってみてください。

僕を何匹見付けられるかな?
獅子は縁起物だよ

青の洞窟もおススメ!!

編集長の独り言

トップニュースにあった三陸キッズジオマスター、テレビでご覧にいただきましたでしょうか?ジオサイトを順番に回答する山手線クイズではなかなか決着がつかず、関係者全員が興奮しました!!今年も子どもたちが参加するジオパークイベントをたくさん行っていきたいと思いますのでお楽しみに!
本年も三陸ジオパークをよろしく願います。

「ゆきだるまのつぶやき」

いつの間にか年が明けてしまいました。今回のジオだよりを見て分かるように、去年は認定に向けた取り組みと認定後の様々なイベントであったという間でした。新しい一年も皆さまと一緒に楽しみたいと思いますので、よろしく願います。



三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町 1-20

宮古地区合同庁舎内

TEL : 0193-64-1230

FAX : 0193-64-1234

メール : info@sanriku-geo.com

URL : <http://sanriku-geo.com/>

